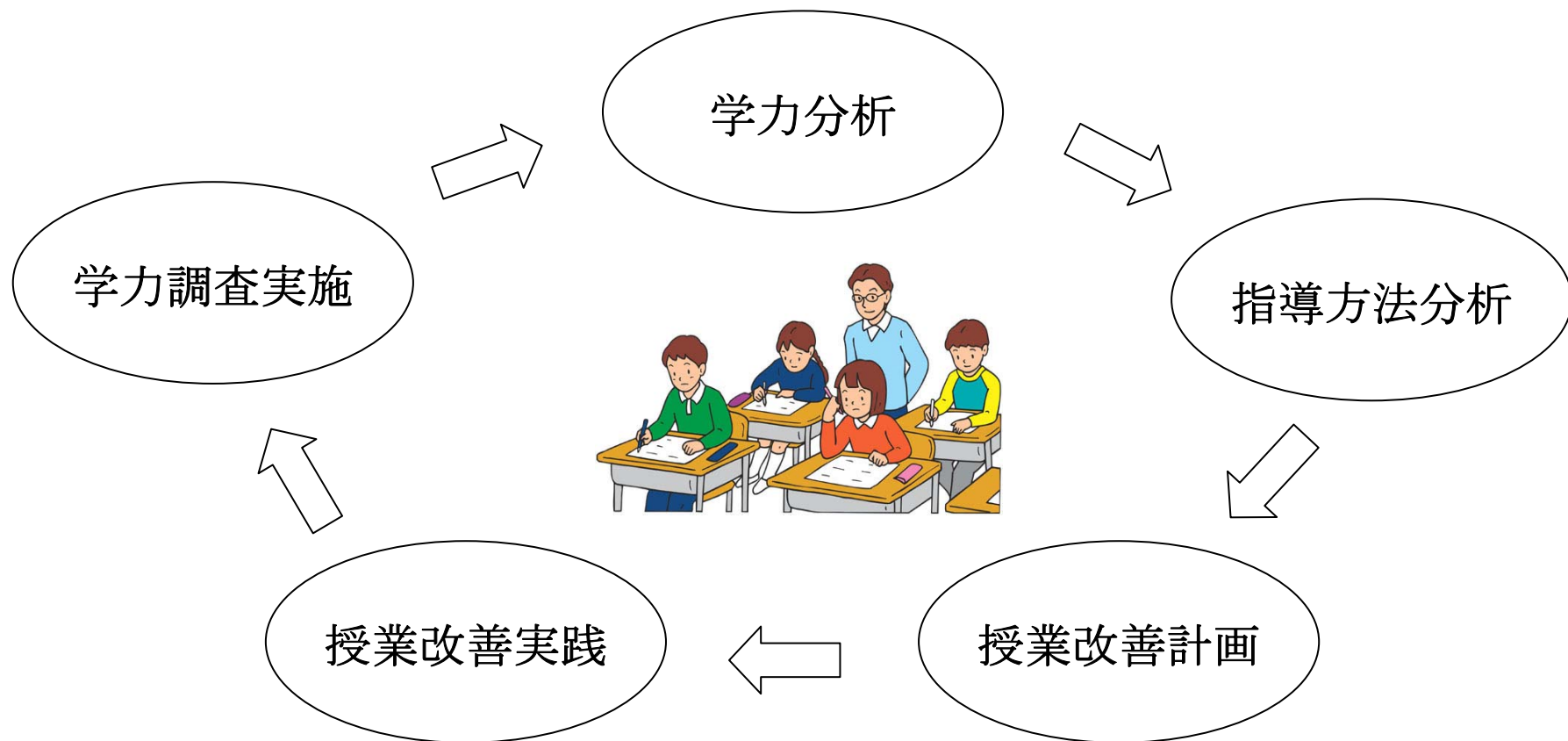


平成21年度

授業改善推進プラン



東京都北区立滝野川第二小学校

平成21年度 北区立小学校学力向上を図るための全体計画

北区立滝野川第二小学校

本校における各教科の実態(現状と課題)	
国語	伝え合う力の育成を目指し、「話し方・聞き方名人」「ハンドサイン」等を基礎にして「話すこと・聞くこと」に取り組んでいる。この力を他教科・領域に発展させることが課題である。
算数	少人数指導に取り組み、単元ごとに習熟度別クラスにしたり、均等分けクラスにしたりしている。一人一人が自分の考えを積極的に発表し合うことで、課題解決を図ることが課題である。
社会	一人一人の興味関心を生かした学習課題を設定し、見学やインタビュー、図書やパソコンでの調べ学習を通して課題解決を図っている。調べた事実を基に自分の考えを深めることが課題である。
理科	理科支援員とのTT体制(5,6年生)で個別指導を行い、実験や観察に取り組んでいる。グループや学級全体で話し合いながら、予想を立てたり結論を導き出したりすることが課題である。

本校の教育目標
たゆまず学び 工夫する子
きまりを守り 協力する子
にこやかに 心も体も 元気な子

本校が児童に育成したい力
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識、技能(読む・書く・聞く・話す・計算する力、学習指導要領の内容) ・知識、技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等 ・課題解決に向けての関心、意欲、態度

学力向上に関わる経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着 ・児童のよさや個性が発揮できる授業の工夫・改善 ・児童が主体的に活動する授業の工夫・改善

校内における学力向上推進体制
学力向上に関する特別委員会(研究推進委員会、指導評価委員会、少人数指導委員会、図書館運営委員会、特別支援校内委員会)が、有機的に機能しながら全教員で授業改善に取り組み、児童の学力の向上を図る。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編制上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
学習形態を工夫し、習熟度別授業や少人数授業、TT授業に積極的に取り組むと共に、小グループによる学習を推進し、個に応じた指導の充実を図る。	朝自習を実施し、読書や読み聞かせ、漢字や計算の反復練習等をする。また、授業時数の確保に努めたり、夏季学習室(19日間)を実施したりする。	地域教材や地域の教育力を活用した授業を通して、主体的に学ぶ意欲を高める。また、一人一公開授業の実践を通して教師の授業力の向上を図る。	評価規準を活用した形成的評価を指導に生かし、指導と評価の一体化を図る。また、学校関係者評価や内部評価を積極的に活用し授業改善に生かす。	家庭との連携を強化し、家庭学習の定着と基本的な生活習慣の確立を図る。また、学校公開、学習ボランティアの活用、滝二地域寺子屋への協力を推進する。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさずに聞いたり、話したり、内容を読み取ったりする力は不十分であり、個人差が大きい。 ・助詞「は、を、へ」の使い方が不正確である。 ・書く文字の筆順や字形が不正確になりがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞き方名人」「話し方名人」になるための具体的なポイントを指導する。 ・叙述に即して正しく読み取れるよう、キーワードを探して線を引いたり、試写したりする活動を取り入れる。 ・助詞の使い方は文章の中で読んだり書いたりしながら理解させる。 ・文字の指導の際に正しい筆順や字形を意識させ、繰り返し指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業だけでなく、他教科の授業や朝の会・帰りの会などで、相手意識を持って話したり聞いたりする場面を多く設定する。 ・授業や家庭学習で教科書の音読を行い、目と耳で文章表現に親しむようにさせる。 ・日常的に文章を書く機会を増やし、教師が目を通して正しい表記ができるよう励まし指導する。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数の構成の理解に個人差が大きい。 ・計算はできるが、一定時間にこなせる問題数にかなりの個人差がある。 ・文章題で、問題文をよく理解しないままやってしまう傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックなどの具体物を活用し、操作活動を通して理解させる。 ・ドリルやプリントで繰り返し計算練習を行う。正確に計算できるようになったら時間も意識して集中して取り組ませる。 ・文章題を声に出して読ませたり、大事な言葉にラインを引かせたりして、問題をしっかり理解してから取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日家庭学習用のプリントを用意して取り組ませ、計算力の定着を図る。 ・パワーアップ講師とのTT体制で、個別指導を充実させる。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・書こうとする題材に必要な事柄を集め、簡単な組み立てを考えながら文章を書くことが不十分である。 ・事柄の順序を考えながら、内容を読み取ることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい表現を音読し視写する中で自分の短作文に生かすことができるように指導する。 ・主語に当たる部分と述語に当たる部分を互に対応させて、大事なことを落とさずに話したり書いたりするよう指導する。 ・登場人物の出てくる順番や会話文に注目させ、場面の様子や人物の気持ちを想像を広げながら読ませる。 ・読書活動を継続的に行い、豊かな感情と言葉を使いこなす力をつける。 ・漢字の書き取りや小テストを継続的に行い、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な作文の定型を教え、授業や家庭学習において「いつ・だれが・何をした」を書く機会を増やし、その定着を図る。その時、実際に見たことや聞いたことなどを手がかりに書く材料を見つけるよう個別指導をする。 ・文章の読み取りの学習では、出てくる会話文と自分の体験とを結びつけて様子を想像させる発問をする。 ・音読カードを利用し、毎日音読練習するよう家庭にも協力を求める。年間を通じて読書の記録をつけ、継続的な読書活動を励ます。 ・授業や家庭学習において、漢字書き取りの反復練習を充実させる。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・位取り記数法を理解し、10の数からまたは十の位と一の位の数からその数を表す活動が不十分である。 ・長さの単位を理解し、長さを測ったり比較したりする活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの数を他の数の和・差などとして見たり、十・百・千を単位として見たりすることができるようにするなど、数を多面的に見る活動の充実を図る。 ・測定の活動を実際に体験する時間を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年の学習事項が定着していない児童には「10の合成・分解」と「繰り上がり・繰り下がりの加法と減法」を個に応じた指導する。 ・授業や家庭学習において、量の大きさについて実感を伴うような体験的な活動を行うとともに、日常生活との関連を踏まえた指導を行う。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
3年	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や言葉の表記を正確に行うよう繰り返し指導していくことが不十分。 学習したことを日常生活で使い、定着させていく活動が不十分。 言葉に着目し、叙述に即して読む指導が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典を日常的に活用し、漢字や言葉の表記を正しく行おうとする学習習慣を身に付ける。 漢字のノート指導、小テストを継続的にを行い、指導と評価を一体化させる。 めあてを明確にし、その達成のためにより効果的な学習方法で授業を展開する。 学習効果を上げる資料を作成し、活用する。 日常的にスピーチや行事ごとの感想文などを取り入れ、継続的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解や表現が困難な児童には、教師との対話により言葉を引き出し、具体的な助言により個別指導していく。 言語に関する知識を広げるために、幅広い読書の推進を「おすすめの本のしょうかい」「読み聞かせ」「ブックトーク」などを通して行う。 読み取った内容からクイズを作ったり、部首ごとに集めた漢字を使って短文を作ったりするなど、創造的な活動を取り入れる。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
3年	<ul style="list-style-type: none"> 位取り記数法、数の相対的な大きさについて理解する活動が不十分。 2けたの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法、3けた－2けた減法の筆算を反復練習する活動が不十分。 長さを表す適切な単位を理解するような活動が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対し、既習事項や経験から試行錯誤しながら自分なりの考えをもてるような時間を確保する。 児童一人ひとりのペースで進められるドリルを作成し、児童が主体的に学習できるように活用する。 具体的な操作活動を多く取り入れる。 既習の計算を反復練習する時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導、均等分割少人数指導、単純4分割少人数指導、学級単位でのTT指導等を使い分け、個に応じた指導をさらに充実させる。 授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復練習を行い、その定着を図る。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（社 会）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
3年	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいるまちや北区の様子について、資料から具体的な事実を読み取るような活動が不十分。 資料からわかったことを実際に自分で体験する活動が不十分。 体験したことや資料から読み取ったことが知識として定着していない。 テーマ別に調べたことをまとめる際の、細かな指導が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味・関心を引き出し、それらを生かした学習課題を設定する。 資料の読み取りだけでなく、具体的な体験活動を授業に多く取り入れる。 商店街、工場の見学、昔の道具を使う体験活動などを行う。 調べたことをまとめる際は、作品のひな形を示し、表現の仕方を具体的に指導する。 学年集団を分割してコース別学習に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設、保護者や地域の方々の協力を得て、校外での課題別調べ学習や体験学習の機会を設ける。 知識を定着させるためにワークシートを活用し、内容を確認したり復習を行ったりする。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（理 科）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
3年	<p>興味・関心から実験したり、観察したりしたことが、知識・理解へと結びつくような活動が不十分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観察においては、観察のポイントを細かく指示し、気付いたこととわかったことを区別して書くカードを活用する。 見通しをもって問題解決に取り組めるよう、実験においては、問題、予想、方法、結果、結果からわかったこと、感想を記入するようにする。 一人ひとりの考えを基にしたグループや学級全体での話し合い活動を重視する。 	<p>発展学習として、昆虫や植物など主体的に・世話をする環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識を定着させるために、にワークシートを活用し、内容を確認したり復習を行ったりする。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の情景を、叙述を基に想像しながら読み取るだけでなく、要点や段落相互の関係を捉えながら理解する指導が必要である。 ・目的に応じて、細かい点に注意して文章を読み取ることが十分でなかった。 ・漢字の書き取りの練習が不十分である。 ・相手や目的に応じて、適切に書くことや考えが明確になるように、段落相互の関係を考えながら書くことや、中心を明確にしながら段落の書き方に注意して書くことの指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を継続して、文章のよいところを見つけて話し合ったり、表現したりするために必要な語句を増やしたりする。 ・人物の心情や情景を表す叙述やよい表現に線を引いたり視写したり、話し合ったりしながら、心情や情景を読み取らせる学習を充実する。 ・身近な話題についてスピーチ活動を行い、要点などをメモにとりながら聞く活動や漢字の書き取りを反復練習するなど、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について国語辞典を活用する習慣をつける。 ・朝のスピーチタイムを充実させ、構成メモを活用したスピーチを輪番で全員が行う。 ・音読、読書、漢字、詩の暗唱等を日常的に継続して家庭学習を含め取り入れて、家庭の協力を仰ぐ。 ・日記、感想文、作文等においてスキルを身につけさせるように、適切な指導を積み重ねていく。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・加法や減法、繰り上がり3回の乗法の筆算、加法と減法を含む式などの計算を反復練習する活動をより充実させる。 ・かさや重さの単位を理解し、身近にあるものの重さを推察して適切な単位を使えるようにする活動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の計算を反復練習する時間を確保する。 ・実際の重さを体感させる具体的な捜査活動を多く取り入れる。 ・グループで課題に取り組み、多様な考え方で試行錯誤する活動を通して正しく理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復学習を行い、その定着を図る。 ・指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導、均等分割少人数指導、学級単位でのTT指導等を使い分け、個に応じた指導を更に充実させる。 ・放課後の時間を活用し、学年で協力して個別指導に力を入れる。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（社 会）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や各種の資料を効果的に活用し、調べたことを工夫してまとめる指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の様子について資料を活用したり、白地図に表したりする活動を取り入れ具体的に考えさせる活動を増やす。 ・資料から読み取った内容を関連づけて捉えることができるように個別の支援を充実させる。 ・学習形態として小グループでの調べ学習を取り入れたり、調べたことを発表し合ったり、理解を深める学習活動を取り入れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料集めに際しては、図書館司書教諭、区立図書館と連携してテーマに沿った本を集めたり、パソコンルームを効果的に活用したりすることにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。 ・資料館、博物館などの見学や体験活動を充実させる。 ・知識を定着させるために、まとめのプリント学習を行う。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（理 科）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に植物や昆虫の育ち方、特徴などを観察し比較することで共通性をとらえさせる活動が必要である。 ・観察や実験の具体的な方法や技能の会得や実験の結果から児童自らが結論を導き出す活動が十分でなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験や科学的な体験を豊かにし、植物や昆虫の観察や地域の自然に親しむ活動を取り入れて、自然への意欲を高めたり、科学的なものの見方を育てたりする。 ・実験や観察の基本的な方法や注意点を明確に示し、安全に行えるようにする。 ・実験においては、学習カードを活用し、予想を立てる、実験する、記録する、結論を導き出す、ことを繰り返し指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心が高まるよう、単元によっては理科支援員との連携により、実験・観察の充実を図ると共にプラネタリウム見学など、体験学習の場を広げる。 ・小グループでの問題解決活動を進め、どの子も主体的に実験・観察・飼育・栽培にかかわるようにする。 ・知識を定着させるためにまとめのプリント学習を行う。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したいことを筋道を立てて文章に表すことが不十分である。 ・言語の基礎を理解し、漢字やローマ字を正確に読み書きすることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道の整った文章を視写したり、構成メモを作って文章を表現したりするようにする。 ・日々の授業の中で言語理解のための時間を設けると共に漢字学習を工夫して行う。 ・言葉や文章に注目して調べる時間をとったり、新聞記事を利用したりする学習などを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のスピーチタイムを充実させ、構成メモを活用したスピーチを全員が輪番で行う。 ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について辞書を活用する習慣をつける。 ・授業や家庭学習で教科書の音読を行い、目と耳で文章表現に親しむようにさせる。 ・毎日、漢字や言葉の学習が出来るよう家庭学習の仕方を工夫する。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習し、既習事項や経験から自分なりの考えをもったり、友だちの多様な考えを理解する中で、最適な方法を選択したりするような活動が不十分である。 ・四則混合の式の意味や図形の特徴についての理解を深めるための活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、既習事項や経験から自分なりの考えがもてるような時間を確保する。 ・一人一人の考えを発表し合う時間を確保し、多様な考えを受け入れ、その中から最適な方法を選択できるようにする。 ・既習の計算を反復練習する時間を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導・均等分割少人数指導・学級単位 TT 指導法を使い分け、より中身の濃い指導を充実させる。 ・授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復学習を行い、その定着を図る。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（社 会）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
5年	<ul style="list-style-type: none"> 知識の理解と共に、資料から具体的な事実を読み取り、そこから自分の考えを持ち、根拠を明らかにしながら、適切に判断するような活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を明確にし、資料や調べた事柄、体験や見学から自分の考えを深め、分かったことや考えたことを新聞などにまとめて発表するような活動を意図的・計画的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集だけではなく、図書館やパソコンルーム、新聞記事や取材などを効果的に活用することにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（理 科）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
5年	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察において、既習内容や経験から根拠を明らかにして予想を立てたり、結果を正しく記録したり、そこから児童自らが結論を導き出す活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察においては、課題、予想、理由、手順、結果、結論を記入する学習カードを活用する。そして、一人一人の考えを元に、グループや学級全体で話し合いながら予想を立てたり、正確に実験・観察した結果を的確に記録したり、結果から結論を導き出したりする活動を意図的・計画的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科支援員の専門性を生かした助言を受けながら、児童の興味・関心を引き出す授業作りを行う。 知識を定着させるためにまとめのプリント学習を行う。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したいことを筋道立てて文章に表すことが不十分である。 ・言語の基礎を理解し、漢字を正確に読み書きしたり、言葉の意味を正しく理解し活用したりすることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道の整った文章を視写したり、構成メモを作って文章を表現したりするようにする。 ・日々の授業の中で言語理解のための時間を設けると共に漢字学習を工夫して行う。 ・言葉や文章に注目して調べる時間をとったり、新聞記事を利用したりする学習などを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のスピーチタイムを充実させ、構成メモを活用したスピーチを全員が輪番で行う。 ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について辞書を活用する習慣をつける。 ・授業や家庭学習で教科書の音読を行い、目と耳で文章表現に親しむようにさせる。 ・毎日、漢字や言葉の学習が出来るよう家庭学習の仕方を工夫する。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習し、既習事項や経験から自分なりの考えをもったり、友だちの多様な考えを理解する中で、最適な方法を選択したりするような活動が不十分である。 ・小数と整数のしくみ、四則混合の式、小数の乗法・除法、図形の面積、百分率について、理解を深めるための活動と反復練習する活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、既習事項や経験から自分なりの考えがもてるような時間を確保する。 ・一人一人の考えを発表し合う時間を確保し、多様な考えを受け入れ、その中から最適な方法を選択できるようにする。 ・既習の計算や学習を反復練習する時間を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導・均等分割少人数指導・学級単位 TT 指導法を使い分け、より中身の濃い指導を充実させる。 ・授業や家庭学習において、ドリルやプリントを活用した計算反復学習を行い、その定着を図る。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（社 会）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を引き出し、それらを生かした学習課題の設定が不十分である。 ・知識の理解と共に、資料から具体的な事実を読み取り、そこから自分の考えを持ち、根拠を明らかにしながら、適切に判断するような活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の興味関心を生かした学習を取り入れ、分かったことや考えたことを新聞などにまとめて発表するような活動を計画的に設定する。 ・学習課題を明確にし、資料や調べた事柄、体験や見学から自分の考えを深められるような学習活動を意図的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集だけではなく、図書館やパソコンルーム、新聞記事や取材などを効果的に活用することにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。 ・知識を定着させるためにワークシートを活用し、内容を確認したり復習を行ったりする。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（理 科）

北区立滝野川第二小学校

学年	学習状況及び指導方法の課題分析	具体的な授業改善案	補充・発展指導計画
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察において、既習内容や経験から根拠を明らかにして予想を立てたり、結果を正しく記録したり、そこから児童自らが結論を導き出したりする活動が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察においては、課題、予想、理由、手順、結果、結論を記入する学習カードを活用する。そして、一人一人の考えを元に、グループや学級全体で話し合いながら予想を立てたり、正確に実験・観察した結果を的確に記録したり、結果から結論を導き出したりする活動を意図的・計画的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TT指導を行い、個別指導を充実させる。 ・理科支援員の専門性を生かした助言を受けながら、児童の興味・関心を引き出す授業作りを行う。 ・知識を定着させるためにまとめのプリント学習を行う。